

# 事業報告(案)

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

## I 事業活動の概況に関する事項

当法人の活動目的は、人も含めたすべての動物達を幸せにすることです。そのためには、人も動物よりもより良い形で共生出来る社会の構築が必要となります。そこで、当法人は人と動物のより良い共生を進めるための啓発、教育、研究事業、そして目的を達成する為に必要なあらゆる事業を国内外のその分野の関係団体、専門家、行政機関等に幅広く連携を求めて実施しました。

特に本年は、事業を継承した NPO 法人の設立から 15 周年、公益社団法人の認証から 5 周年を迎え、設立の切掛けとなった阪神・淡路大震災から 20 年という様々な意味での節目の年でもあり、心新たに、真摯に事業に取り組みました。

### 啓発事業

りぶ・らぶ・あにまるず ICAC KOBE 2015

～阪神・淡路大震災の経験を、人と動物の幸せな未来へ～

第 4 回 神戸 全ての生き物のケアを考える国際会議 2015

— 阪神・淡路大震災 20 年記念大会 One World, One Life —

阪神・淡路大震災 15 周年を契機に第 1 回を開催し、人も含めたすべての動物の「命」に対する責任について考え、人及び動物が幸せに共生できる社会の構築を目指し、震災で多くを学んだ神戸の街から、情報交流・情報発信を行っていく為に 2 年に 1 回実施してまいりました。

第 4 回を迎える今年「阪神・淡路大震災から 20 年記念」として、多方面からの協力のもと、実行委員会主催として開催しました。

- ・開催日：7 月 19 日（日）、20 日（月・祝）
- ・開催場所：神戸大学総合研究拠点（国際会議）  
神戸ポートピアホテル（レセプション）
- ・対象：各専門分野関連事業従事者／公衆衛生関係者／学生／一般
- ・募集方法：ウェブサイト、メールマガジン、印刷物の配布 等
- ・内容：

#### ◎基調シンポジウム

「阪神・淡路大震災の経験を人と動物の幸せな未来へ — 護るべき大切な日常とは？」

#### ◎分科シンポジウム

- 1 「同行避難～これからの人と動物の緊急災害時」
- 2 「最近問題となった人と動物の共通感染症」
- 3 「災害に強い日本型畜産の構築のために」
- 4 「地域を幸せにする伴侶動物飼育支援システム—伴侶（家庭）動物との暮らしを地域活性へ」
- 5 「日本の災害獣医療の今後を考える」

#### ◎オーラルセッション

- 1 「食の安全／人獣共通感染症」
- 2 「One Plan Approach ～野生動物と共存していくための包括的な取り組み」

3 「教育／子ども達との関わり」

4 「その他」

◎ポスターセッション

1 “Does Poverty Perpetuate Rabies In Bangladesh!”

2 “SILENT REVOLUTION OF RABIES ELIMINATION FROM BANGLADESH!”

3 「樹状細胞の免疫活性に対する卵巣ホルモンの影響」

4 「がん細胞へのサイトカイン遺伝子の導入による抗がん免疫反応の増強」

5 「バングラディッシュの2つの地域におけるネコインフルエンザ感染率の調査」

6 “A Spontaneous Case of Appendicitis in Rabbit (*Oryctolagus cuniculus*)”

7 「100匹のほりこねこ展 -猫による諸問題を考える、子どもたちとの展覧会作り-

8 「“豊かすぎる餌”がコウノトリのなわばり社会に与える影響」

9 「リポソームを応用した犬用歯周病粘膜ワクチンの開発」

10 「pH感受性リポソームを応用した腫瘍ワクチンの開発」

11 「ウェルシュ菌芽胞形成の新しい評価法の開発」

12 「ミニチュアダックスフンド犬の舌における多発性組織球性泡沫細胞結節」

13 “Field-Validation of Minimum Application Intervals for Use of Raw Animal Manure as a Soil Amendment in the Central Valley, California”

14 “Linkages between Pathogens and Cattle Fecal Loads and Microbial Water Quality in Aquatic Ecosystem in Sierra Nevada Meadows of California”

・主 催：ICAC KOBE 阪神・淡路大震災 20年記念大会 実行委員会

・実行委員会構成団体：

神戸市／兵庫県動物愛護センター／公立大学法人 大阪府立大学 獣医学類／公益社団法人 日本動物病院協会／公益社団法人 日本動物福祉協会／公益社団法人 Knots (事務局)

※事務局アドバイザー (50音順)：

植村興氏／柴内裕子氏／玉井公宏氏／笹井和美氏／山口千津子氏／山崎恵子氏

・共 催：公益社団法人 日本医師会／近畿地区連合獣医師会／神戸市動物愛護協会

・シンポジウム主催団体：

人と動物の共通感染症研究会／災害動物医療研究会／公益社団法人 日本動物病院協会／公益社団法人 Knots

・セッション運営支援団体：

【オーラルセッション】公益社団法人 日本獣医学会／日本野生動物医学会

【ポスターセッション】公立大学法人 大阪府立大学 獣医学類

・特別協賛：日本ヒルズ・コルゲート株式会社

・シンポジウム支援企業：ロイヤルカナンジャパン

・会議支援企業：

アサヒグループホールディングス株式会社／六甲山カンツリーハウス／DS ファーマニマルヘルス株式会社／ペットライン株式会社／au 損害保険株式会社

・会議サポーター：個人の会議サポーター

・助 成：Meet IN KOBE 21／公益財団法人 中内力コンベンション振興財団

・特別協力：一般社団法人ペットフード協会／公益財団法人日本モンキーセンター／神戸大学大

学院農学研究科／長崎大学熱帯医学研究所／北海道大学大学院獣医学研究科／帯広畜産大学獣医学課程／岩手大学農学部共同獣医学科／東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻／東京農工大学農学部共同獣医学科／岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科／鳥取大学農学部共同獣医学科／山口大学共同獣医学部獣医学科／宮崎大学農学部獣医学科／鹿児島大学農学部 共同獣医学部獣医学科／酪農学園大学獣医学群／北里大学獣医学部獣医学科／日本大学生物資源科学部獣医学科／麻布大学獣医学部／日本獣医生命科学大学獣医学部／関西学院大学 災害復興制度研究所／同志社大学 良心学研究センター、同 生命倫理ガバナンス研究センター

- ・協力：日本寄生虫学会／日本衛生動物学会／日本熱帯医学会／国際医療リスクマネージメント学会／日本予防医学リスクマネージメント学会／応用動物行動学会／ヒトと動物の関係学会／公益財団法人 動物臨床医学研究所／一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム／兵庫県立人と自然の博物館／兵庫県立コウノトリの郷公園／兵庫県森林動物研究センター／奈良県うだ・アニマルパーク振興室／公益社団法人 日本動物園水族館協会／日本クマネットワーク／ニホンジカ有効活用研究会／一般社団法人エゾシカ協会／一般社団法人 日本SPF豚協会／一般社団法人 ちよだニャンとなる会／公益財団法人 日本盲導犬協会／社会福祉法人 日本介助犬協会／特定非営利活動法人 兵庫介助犬協会／社会福祉法人 兵庫盲導犬協会／社会福祉法人 日本聴導犬協会／特定非営利活動法人 聴導犬普及協会／特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会／一般社団法人 日本障害者乗馬協会／動物との共生を考える連絡会／アニマテック・オオシマ／一般社団法人 優良家庭犬普及協会／一般社団法人 日本ペット用品工業会／日本動物病院会／一般社団法人 日本動物看護職協会／ペットとの共生推進協議会／一般社団法人 人とペットの幸せ創造協会／一般社団法人 ジャパンケネルクラブ／一般財団法人 全国緊急災害時動物救援本部／日本獣医学生協会 (JAVS)
- ・後援：農林水産省／環境省／厚生労働省／文部科学省／兵庫県／兵庫県教育委員会／神戸市教育委員会／神戸大学統合研究拠点／公益社団法人日本獣医師会／一般社団法人兵庫県医師会／一般社団法人 兵庫県獣医師会／公益社団法人 神戸市獣医師会／一般社団法人神戸市医師会／一般財団法人 J-HANBS／公益財団法人 日本動物愛護協会／公益社団法人 日本愛玩動物協会

## りぶ・らぶ・あにまるず フェスティバル 2015

初心者向けドッグスポーツ大会、補助犬、ワーキングドッグのデモンストレーション、神戸市犬譲渡制度のPR等動物に関わる様々な団体が一堂に会してのイベントを実施しています。

阪神・淡路大震災から5年が経ったとき、様々な困難を乗り越えて、楽しい時間を取り戻して貰おうと開始した事業であり、15周年を迎え、改めて動物と暮らすことの楽しさ・素晴らしさを実感して頂き、それを支える飼養マナーの啓発や動物との暮らしを通じての世代間交流も図り、人と人、人と動物の幸せな共生社会の構築に寄与することを目的として実施しました。

- ・開催日：11月29日(日) 9:00~16:00
- ・開催場所：神戸総合運動公園(球技場、水上ステージ、水上ステージ前広場)
- ・開催内容：球技場：初心者対象のドッグスポーツ大会(フリスビードッグ/アジリティ/ギグレース&カニクロス)

水上ステージ：ケーナイン・フリースタイル／デモンストレーション／ミュージックライブ／りぶ・らぶ・あにまるず賞

水上ステージ前広場：出展コーナー／獣医師による健康・飼育相談コーナー

- ・入 場 料：無料 \*但し、競技参加費は有料
- ・主 催：公益社団法人 Knots
- ・共 催：神戸市動物愛護協会
- ・後 援：近畿環境事務所／兵庫県／兵庫県教育委員会／神戸市／神戸市教育委員会／公益社団法人日本獣医師会／一般社団法人 兵庫県獣医師会／公益社団法人 神戸市獣医師会／公益財団法人日本動物愛護協会／公益社団法人日本動物病院協会／公益社団法人日本動物病院福祉協会 /公益社団法人日本愛玩動物協会
- ・開催協力：神戸市動物管理センター／（公社）日本動物福祉協会 CC クロ／公益社団法人神戸市獣医師会／社会福祉法人 日本介助犬協会／NPO 法人 日本サービスドッグ協会（JSDA）／社会福祉法人 日本介助犬協会／日本フリスビードッグ協会／マスダドッグスクール／ギグレース協会／Dogs Life／／徳田 健
- ・出店協力：P・ポール株式会社／大辞典.com／Chu2-KOBE／神戸六甲からあげ専門店 チキンハート／Lab&Peace／toco took／WOOHLA／NPO 法人おーけすとら・ぴっと就労継続支援（B型）事業所 Patch／大阪 ECO 動物海洋専門学校 独立開業ゼミ（運営後援：株式会社エミット）
- ・賞品提供：株式会社 JTB 国内旅行企画西日本事業部／株式会社ヤマヒサ ペットケア事業部／DOG PAPA／P・ポール株式会社／株式会社セラヴィリゾート泉郷／toco toko／WOOHLA／日本フリスビードッグ協会／イリコスキー製麺所／株式会社グッドウィル／株式会社エミット

## りぶ・らぶ・あにまるず賞 2015

人と動物の共生に尽力した企業団体を選出し、「りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバル」会場にて表彰式を行いました。今回は、グランプリの「愛媛銀行 CSR 動物愛護推進連携協定」に加え、ノーベル医学・生理学賞を受賞された北里大学の「大村智先生の『一 寄生虫病の治療薬「イベルメクチン」の開発』」に、特別賞をお贈りしました。

- ・選考委員：横山 章光氏（ヒトと動物の関係学会 常任理事）  
児玉 小枝氏（どうぶつ写真家）  
野田 英明氏（六甲山観光株式会社 取締役観光事業部長）  
深尾 典男氏（国立大学法人長崎大学 副学長）  
冨永 佳与子（公益社団法人 Knots 理事長）
- ・発 表：「りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバル 2015」会場及びウェブサイト上に発表。
- ・受 賞 者：グランプリ：「愛媛銀行 CSR 動物愛護推進連携協定」  
特 別 賞：2015 年度ノーベル医学生理学賞受賞 北里大学 大村 智 先生  
一 寄生虫病の治療薬「イベルメクチン」の開発
- ・ノミネート一覧：① 北里大学 大村智先生 一 寄生虫病の治療薬「イベルメクチン」の開発  
② 山崎産業 バスマットすのこ サラアンドカラ バスマット干しボード  
③ 愛媛銀行 CSR 動物愛護推進連携協定  
④ 株式会社ロムテック CSR TSUBASA

## 「ずっと一緒に居ようよ」プロジェクト その次へ

「りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバル」関係者にて発起した東日本大震災被災者支援に端を発するプロジェクト。「その次へ」と題し、緊急時のみならず、平時においても人と動物の絆が保持されるよう支える方策を考えていくことを中心に、ICAC KOBE 2015 において、『地域を幸せにする伴侶動物飼育支援システム - 伴侶（家庭）動物との暮らしを地域活性へ』と題したシンポジウムを開催した他、新聞への記事提供などの事業を行いました。

## 奈良県「いのちの教育展開事業」連携協定事業及び教育事業

動物を通じた教育は、いのちを大切に、共感を育む教育として文部科学省の指導要領にも盛り込まれており、アジア型ヒューメインエデュケーション構築に取り組み、人も動物もお互いを思いやれる未来へ寄与するものです。

24年度に奈良県と締結した『奈良県いのちの教育展開事業』に於ける連携協定に基づき、奈良県「いのちの教育」プログラムの普及を奈良県と共に推進し、2015年12月には、奈良県うだ・アニマルパーク振興室による「いのちの教育」の現状報告がなされました。

また、同様の目的のために他の自治体とも教育ツール制作等を通じ、協働を推し進めました。

『りぶ・らぶ・あにまるず ICAC KOBE 2015

～阪神・淡路大震災の経験を、人と動物の幸せな未来へ～

第4回 神戸 全ての生き物のケアを考える国際会議 2015

— 阪神・淡路大震災20年記念大会 One World, One Life —』

- ・開催日：7月19日（日）、20日（月・祝）
- ・オーラルセッション3 「教育／子ども達との関わり」にて「奈良県うだ・アニマルパークの「いのちの教育」－小学生プログラムの評価－」を発表
- ・発表メンバー：・大森 亜起子1／松村 かの1／巽 憲文1／阪口 耕平1／熊川 佳奈1／谷野 浩之2／金井 洋子3／藤井 敬子4／田沼 亜祐実5（1 奈良県うだ・アニマルパーク振興室／2 生駒市立生駒小学校／3 奈良県吉野保健所／4 奈良県郡山保健所／5 公益社団法人 Knots 教育部）

『平成27年度・奈良県「いのちの教育」研修会』開催

- ・開催日時：2015年11月9日／13日
- ・場 所：奈良県うだ・アニマルパーク振興室・動物学習館
- ・主 催：奈良県うだ・アニマルパーク振興室／公益社団法人 Knots
- ・協力機関：協力機関中和保健所動物愛護センター
- ・後 援：公益社団法人日本動物病院協会／奈良県教育委員会／宇陀市教育委員会／公益社団法人 奈良県獣医師会

## 六甲山カンツリーハウス わんわんドッグフェスタ運営協力

本事業にたくさんの飼い主さん・ワンちゃんにご参加頂くことで、動物と暮らす楽しさ・幸せを実感して頂き、ひいては、より良い共生推進の一助とするため、春季（4月11日～7月5日）、

秋季（9月5日～11月8日）の土・日・祝日にドッグランを開催、また、5月31日・10月25日にワンちゃん大運動会、その他、ディスクドッグ講習会や犬雑貨フリーマーケット等のイベント等の運営協力を行いました。

- ・主催：六甲山カンツリーハウス
- ・運営協力：公益社団法人 Knots
- ・開催協力：運動会／日本フリスビードッグ協会、阪神警察犬訓練所  
ディスクドッグ講習会／ハイパーフライトジャパン  
フリーマーケット／Dog Goods Marshe 実行委員会
- ・募集方法：ウェブサイト、メールマガジン、印刷物の配布など  
※運動会のルール等は、ウェブ上などに公表

### 野生動物有効活用推進事業

この事業の売り上げは、「障害者の自立支援事業」実施の財源となっています。また、有効活用を推進することで、環境を守り、生態系を保全するとともに、産業が生まれ、雇用創出や地域振興、生産者の生活向上の一助とすることを目的としています。

「ひょうごニホンジカ」商品は、知的障害者作業所の方と共同で開発・製造、「播州宍粟ジカ」商品は、地元の主婦グループが製造し、当法人において販売するとともに、野生動物の「有効活用」を促進し、有害鳥獣の現状についての情報提供を、ウェブサイトを通じて行いました。

### 各種コンサルティング、相談業務の実施

動物と安全に暮らしていくための相談対応、ペット可集合住宅での管理組合、管理会社のサポート、野生動物との関わり方など人と動物の共生に係る様々な相談に対応します。また、人も動物も快適な住まいや旅行等の商品開発のためのコンサルティングを実施します。人と動物のより良い共生を推進し、人も動物も幸せにするために、必要な相談等をイベント会場で行いました。

- ・募集方法 ウェブサイトなど

### 障害者の自立支援事業

当法人が販売している安全安心な犬用手作りおやつのだんごは NPO 法人おーけすとら・ぴっと就労継続支援（B型）事業所 Patch(パッチ)に製造を担当して頂いています。また、新商品の開発も共に行っています。意識の高い飼い主のニーズに合った安全、安心な犬用おやつを販売することが、障害者の方々の自立支援となるのではないかと考えて、一緒に開発、製造、販売に取り組んでいます。

Patch は製造担当として、品質管理等にも注力され、商品の品質も認められて、今では多くのお客様が定期的に購入をして下さっています。その結果、モデル作業所として認められ、他所からの視察も多くなっています。

また、この事業の推進によって、障害者の方々が仕事に対するやりがいを感じ、当初の目的で

あった、メンバーの方達の通所費用を賄えるところまで、運営が進んでいます。引き続きこのような形で自立支援を行っていきます。また、昨年度より Knots 事務局での作業も支援事業として加えることとし、チラシ 送付等の作業を行って頂きました。

- ・支援内容：安心安全な犬用おやつ共同開発・製造・販売 チラシ等の封入、  
発送事務局作業（ICAC 神戸 2014 日本語パンフレット、実施報告書）

## 情報提供事業

主にウェブサイト、メールマガジン等を通して、事業開催情報の他、他団体の催事情報や国内外のレポート等も提供し、更に各種イベントを通じて、幅広く不特定多数の方々に人と動物の共生に関わる様々な情報を提供しました。

特に、「ICAC KOBE 2015」の実施報告及び記録集は当法人のウェブサイト上でも無料で公開しており、研究者や内外の関心を持つ方々に会議の成果をご活用頂き易くなっております。

## 教育事業

人と動物のより良い共生を推し進めるために役立つ情報を、主にウェブサイトを通して幅広く提供いたしました。実施した会議や講演などの貴重な内容は、可能な限りウェブサイト上で公開（特に ICAC KOBE については日英両文で公開）し、当日会場に来られなかった不特定多数に対して教育の機会を設けています。

また、一般市民はもとより、関係する専門家、学生などにとっても有益な知識・情報を共有すべくセミナーなどを実施、その他、学校の教育事業に協力するなど、人材の育成、知識の向上、児童及び青少年の健全育成に貢献しました。

## 情報提供による教育機会の提供

人と動物のより良い共生の推進の為に、開催する国際会議、セミナー等の内容は全て、後日、記録集（可能なものについては、日英両文にて製作）としてウェブサイト上で無料公開し、会議・セミナー等に来られなかった不特定多数の方々への教育の機会を提供しました。

## 講師の派遣

専門学校、セミナー等への講師派遣を随時実施、人材育成、知識の向上及び青少年の健全育成に貢献していきます。今年度は講師の派遣はありませんでしたが、引き続き、関係者を含め、多くの方々に周知利用の促進を図っていきたくと考えております。

- ・講師派遣実績

2015年4月16日 「第2回 三井食品株式会社 研修会」

三井食品株式会社様で、講演させて頂く機会を賜り、当法人理事長の富永佳与子が、阪神・淡路大震災から20年、公益社団法人 Knots も15周年

を迎えることから、「阪神・淡路大震災20年 伴侶動物をめぐる変遷と今後の展望 - ペットノミクスへ向けて」と題して、これまでを振り返りながら、お話を致しました。

2016年1月10日 支えあう人と動物、第1回「華丸セミナー」

2015年に開催された「義犬華丸」365回忌顕彰記念行事を契機に、CAPP活動や動物愛護に関する詳しい内容の講演の要望の声があり、華丸セミナー実行委員会が立ち上がり、その第1回セミナーに、当法人理事長の富永佳与子を講師として派遣。①動物介在活動、②動物介在療法、③動物介在教育をテーマとして、教育・医療・介護などの現場で指導的立場にあられる方を対象として、講演を行いました。

### 研究事業

人と動物のより良い共生を推進する為に必要な情報収集と研究を行い、その情報を幅広く提供することで、啓発、教育事業を行いました。

### その他、当法人の目的を達成する為に必要な事業

#### 国内外の関係団体・専門家・行政機関等との連携促進

啓発・教育・研究事業とも関係各者の協力や連携があつてこそ、より大きな効果を生み出すことが出来るため、関わる様々な方々との連携の促進に取り組んでいます。

#### Knots ALOOHA Club の設置

賛助会員の新たな組織化方策として実施。活動に資金面で賛助頂くだけでなく、組織化し、事業の報告会や会員相互の理解促進を図り、本事業を社会への啓発・教育事業としていく取り組みを実施しています。

#### その他

必要に応じて、可能な範囲で当法人の目的を達成する為に必要な事業を実施していく。

## II 組織の運営に関する事項

### 1 総会の開催状況

	開催年月日	主な議決事項等
定時	平成27年6月12日	第5期計算書類等承認の件（承認可決） 定款一部変更の件（承認可決） 任期満了に伴う理事及び監事選任の件（承認可決）



臨時	平成 27 年 11 月 3 日	「会員の経費の負担に関する規定」一部変更の件（承認可決） 理事及び監事選任の件（承認可決）
----	------------------	--

## 2 理事会の開催状況

	開催年月日	主な議決事項等
第 32 回	平成 27 年 5 月 14 日	正会員の承認の件（承認可決） 特定個人情報保護規定（案）及び会費の負担規定改定（案）について（承認可決） 社員総会招集の件（承認可決） 職務の執行状況
第 33 回	平成 27 年 6 月 12 日	代表理事選定の件（承認可決）
第 34 回	平成 27 年 10 月 29 日	理事・監事の退任の承認（承認可決） 新理事・監事の選定（承認可決） 臨時総会開催の決議（承認可決） 職務の執行状況
第 35 回	平成 28 年 2 月 25 日	正会員の承認の件（承認可決） 平成 28 年度 事業計画について（承認可決） 平成 28 年度 事業予算について（承認可決） 職務の執行状況

## 3 役員に関する事項

地位	氏 名
代表理事	富永佳与子
代表理事	八木 卓也
専務理事	白川 尚範
理 事	佐藤 剣
理 事 (事務局長兼任)	岡本 浩一
監 事	川崎 良輝

## 4 辞任した役員の氏名

地位	氏 名	退任月日・退任事由
理事	マクナーニ 真樹	平成 27 年 4 月 21 日・一身上の都合

## 5 法人の運営組織の状況に関する重要な事項

特にありません

## 6 その他法人の状況に関する重要な事項

特にありません

平成27年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しなので作成しない。

2016年5月

公益社団法人 Knots